

はなぞの

ファミリーサポート・レター

令和3年11月 第5号



はなぞのファミリーサポートチームです！ファミリーサポートレターも今回で第5号となりました。今回のレターでは、第4号に引き続き「患者さんに向けたご家族からのことば」を紹介しします。コロナ禍が長引き面会もできない辛い状態が続いておりますが、患者さんを気遣うご家族の温かい言葉をたくさん頂きましたので、お届けさせていただきます。

コロナ禍で面会できない患者さんに伝えたいこと

- なかなか会えないですが、心配しないでね！！（親戚）
- 面会でいろいろとお話しをしたいのですが、新型コロナのために会うことができません。コロナが落ち着いたらゆっくりとお話をしたいと思います。頑張ってください。（母）
- 入院して悔しい思いをしているかなとは思っています。孫もいい子に成長して、コロナがなくなったら主人に会いたがっています。主人には面会できるまで体を大切にしておいてほしいです。（妻）
- 今しばらくの辛抱です。（姉）



※()内は続柄を記載しています

治療に取り組む患者さんに伝えたい言葉

- 長期入院で大変でしょうが、コロナ禍で生活が苦しい人がいっぱいいます。病院でたくさんの人にお世話になっています。感謝の心を忘れないでくださいね。（姉）
- 自分に負けずに、規則を守って一日、一日を楽しく過ごしてください。（母）
- 社会生活の経験が少ないが、今後の取り組みとして早く社会へ復帰したい気持ちが強く、焦り気味になる様です。でも自分の思う様にならないことが多く出てくると思いますが、その対応と、イライラ不安定にならない様にコントロール出来る様に相談できる場所、落ち着ける場所を見つけてほしいです。（親）
- これから園芸を一緒にやりたい。（親）
- 定期的な交流・自発能動での取り組み強化。（親）



家族からのメッセージ

- 退院できてから社会に慣れて行こうと一所懸命取り組んでいます。作業所には恵まれていて友人もでき、とても楽しそうであったが、就労支援になると少し内容も変わり、少し大変なのかなあとと思われるところもある。今後の社会生活に向けての取り組み、何とかコントロールしながら続けて行ってほしいです。
- 本人が中学生の頃、陸上のマラソン選手でした。本当によく頑張っていたと思います。

はなぞのファミリーサポート・チーム

心理室 岡村、相談室 宗本、OT室 角田・平田、デイケア 上村